

横浜高速鉄道株式会社の2019年度中間決算の概要

横浜高速鉄道株式会社（本社：横浜市中区、代表取締役社長：鈴木 伸哉）の2019年度（第32期）中間決算がまとまりましたので、概要を発表いたします。

1. 決算の概要

2019年度中間期の旅客運輸収入および構内営業・広告等の営業収益は、前年同期比3億8千3百万円（6.2%）増加し、66億9百万円となりました。また、営業費は、水道光熱費の増加等により前年同期比1億3百万円（2.1%）増加し、50億9千1百万円となりました。この結果、営業利益は、前年同期比2億7千9百万円（22.6%）増加し、15億1千8百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、社債の発行による低金利での調達及び借入残高の減少等により支払利息・社債利息が3千5百万円減少したこともあり、前年同期比3億1千1百万円（49.0%）増加し、9億4千5百万円となりました。

特別利益として補助金等1億8百万円、特別損失として固定資産圧縮損9千万円を計上し、法人税、住民税、事業税及び法人税等調整額1億3千万円を控除したことにより、中間純利益は、前年同期比2億3千1百万円（38.4%）増加し、8億3千3百万円となりました。

（単位：百万円）

項目	2018年度中間 (第31期中間)	2019年度中間 (第32期中間)	増 減	
A 営業収益	6,226	6,609	383	6.2%
B 営業費	4,987	5,091	103	2.1%
C 営業利益 (A-B)	1,238	1,518	279	22.6%
D 営業外収益	4	1	△3	△69.3%
E 営業外費用	608	573	△34	△5.7%
F 経常利益 (C+D-E)	634	945	311	49.0%
G 特別利益	62	108	45	71.9%
H 特別損失	-	90	90	-
I 法人税、住民税、事業税	119	134	14	11.8%
J 法人税等調整額	△24	△3	20	△84.8%
K 中間純利益 (F+G-H-I-J)	602	833	231	38.4%

（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

2. みなとみらい線（横浜駅←→元町・中華街駅）の利用人員

2019年度上期は、42,607千人（1日平均232,823人）のお客様にご利用いただきました。前年同期は39,925千人（同218,167人）でしたので、6.7%増、2,682千人（同14,656人）の増加となり、1日当たりの利用者は中期経営計画の2019年度末の目標値である217,000人/日を上回っています。

このうち、定期券利用者は、みなとみらい21地区への企業進出や、消費税増税前の駆け込み購入の影響などにより、前期比6.9%増の20,036千人（同109,484人）となりました。また、定期券以外の利用者は、10連休となったゴールデンウィーク期間中の来街者の増加や、夏季に集客効果の高い沿線イベントが行われたことなどにより、前期比6.5%増の22,571千人（同123,340人）となりました。

◇各駅乗降人員

（単位：千人）

	横浜	新高島	みなとみらい	馬車道	日本大通り	元町・中華街
2018年度 上期	38,191	1,133	16,275	7,282	5,198	11,766
2019年度 上期	40,699	1,343	17,618	7,672	5,421	12,460

◇利用人員（上表の合計×1/2）

2018年度上期 39,925千人
2019年度上期 42,607千人（前年同期比 6.7%増）

【参考】

◇1日平均各駅乗降人員

（単位：人/日）

	横浜	新高島	みなとみらい	馬車道	日本大通り	元町・中華街
2018年度 上期	208,698	6,195	88,940	39,795	28,409	64,297
2019年度 上期	222,397	7,341	96,272	41,924	29,625	68,087

◇1日平均利用人員（上表の合計×1/2）

2018年度上期 218,167人
2019年度上期 232,823人（前年同期比 6.7%増）

以上

中間貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	前 期 末 (2019 年 3 月 31 日)	当 中 間 期 末 (2019 年 9 月 30 日)	増 減	科 目	前 期 末 (2019 年 3 月 31 日)	当 中 間 期 末 (2019 年 9 月 30 日)	増 減
流 動 資 産	10,131	6,191	△ 3,939	流 動 負 債	19,452	18,294	△ 1,157
現金及び預金	1,978	4,153	2,175	1年以内返済予定 長期借入金	11,224	10,369	△ 855
未収運賃	599	782	182	1年以内返済予定 長期未払金	5,294	5,002	△ 292
未収金	22	1	△ 20	未払金	801	228	△ 572
有価証券	7,000	300	△ 6,700	未払費用	652	468	△ 184
前払金	306	626	320	そ の 他	1,479	2,226	747
前払費用	71	124	52	固 定 負 債	152,117	146,571	△ 5,545
そ の 他	153	203	49	社 債	23,000	23,000	-
				長期借入金	76,897	74,839	△ 2,057
				長期未払金	48,798	45,564	△ 3,234
固 定 資 産	201,299	199,377	△ 1,921	そ の 他	3,421	3,167	△ 254
鉄道事業 固定資産	200,684	198,704	△ 1,979	負 債 合 計	171,569	164,866	△ 6,703
有形 固定資産	103,838	102,984	△ 853	純 資 産 の 部			
無形 固定資産	96,846	95,720	△ 1,125	株 主 資 本	39,995	40,828	833
建設仮勘定	413	467	54	資 本 金	50,719	50,719	-
投 資 その他の資産	201	204	3	利益剰余金	△ 10,723	△ 9,890	833
繰 延 資 産	135	126	△ 8	純 資 産 合 計	39,995	40,828	833
資 産 合 計	211,565	205,695	△ 5,869	負 債 及 び 純 資 産 合 計	211,565	205,695	△ 5,869

（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。 自己資本比率 18.9% 19.8% 0.9%

中間損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	前 中 間 期 自2018年4月 1日 至2018年9月30日	当 中 間 期 自2019年4月 1日 至2019年9月30日	増 減
営 業 収 益	6,226	6,609	383
旅客運輸収入	5,487	5,853	366
（ 定 期 ）	1,793	1,918	125
（ 定 期 外 ）	3,694	3,935	240
その他の収入	738	755	17
営 業 費	4,987	5,091	103
運 送 費	1,905	1,937	31
一 般 管 理 費	144	164	19
諸 税	282	284	1
減 価 償 却 費	2,655	2,705	50
鉄道事業営業利益	1,238	1,518	279
営 業 外 収 益	4	1	△ 3
受 取 利 息	0	0	0
有 価 証 券 利 息	0	0	0
そ の 他	4	1	△ 3
営 業 外 費 用	608	573	△ 34
支 払 利 息	553	504	△ 49
社 債 利 息	40	54	13
そ の 他	13	14	1
経 常 利 益	634	945	311
特 別 利 益	62	108	45
補 助 金 収 入	-	91	91
鉄道施設受贈財産評価額	-	17	17
受 取 補 償 額	62	-	△ 62
特 別 損 失	-	90	90
固 定 資 産 圧 縮 額	-	90	90
税引前中間純利益	697	963	265
法人税、住民税及び事業税	119	134	14
法人税等調整額	△ 24	△ 3	20
中 間 純 利 益	602	833	231

（注）記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

